

(例)

(柳川市)

設置場所 柳川市

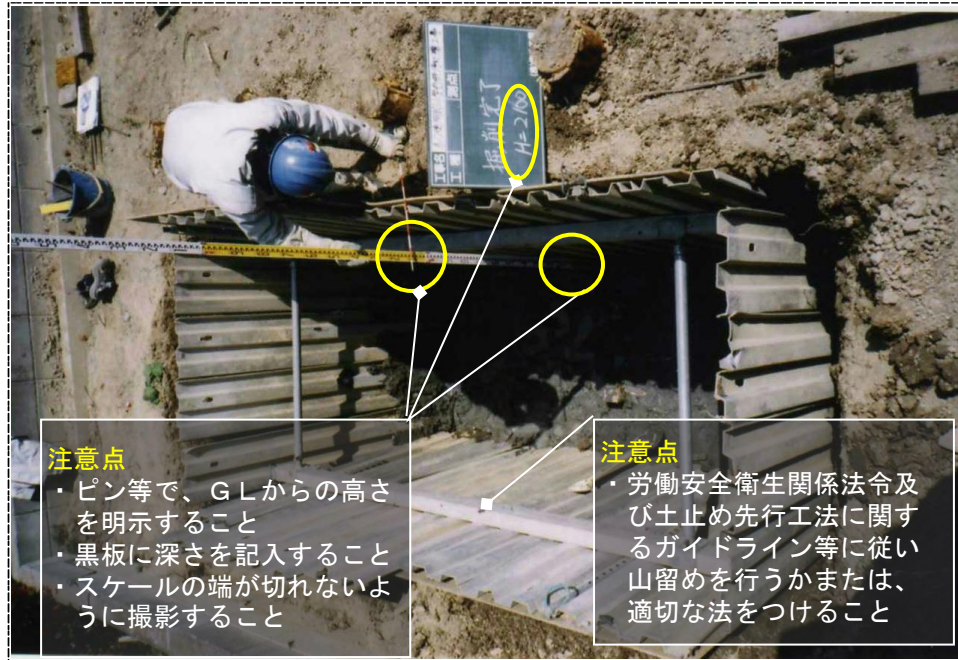
- ※ 浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っているところ。
- ※ 施工位置及び全景が把握できること。



浄化槽設備士

写真（２）【 土 工 】床付けの完了写真

- ※ 掘削深、床堀の長さ・幅が確認できること。
- ※ 掘削深さと床堀の長さ・幅の検測が、写真１枚で確認できない場合は、２枚に分けること



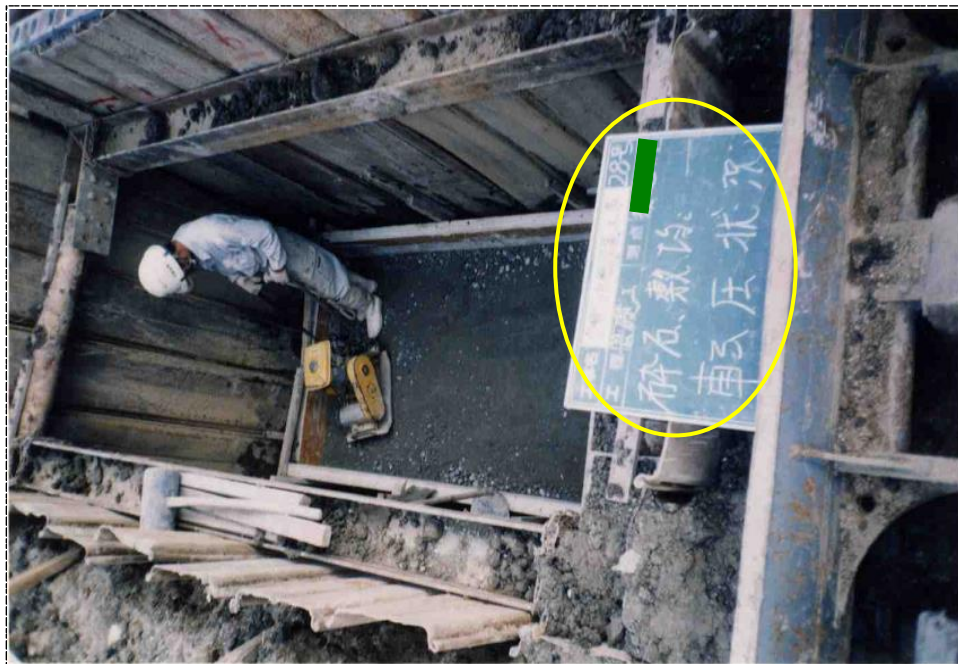
写真（３－１）【 砕石 ・ 栗石 基礎工】

※ 栗石が確認できること。



写真（３－２）【 砕石 ・ 栗石 基礎工】

※ 転圧作業中の写真



写真（3－3）【 砕石 ・ 栗石 基礎工】

※ 基礎厚 150mm が確認できること。

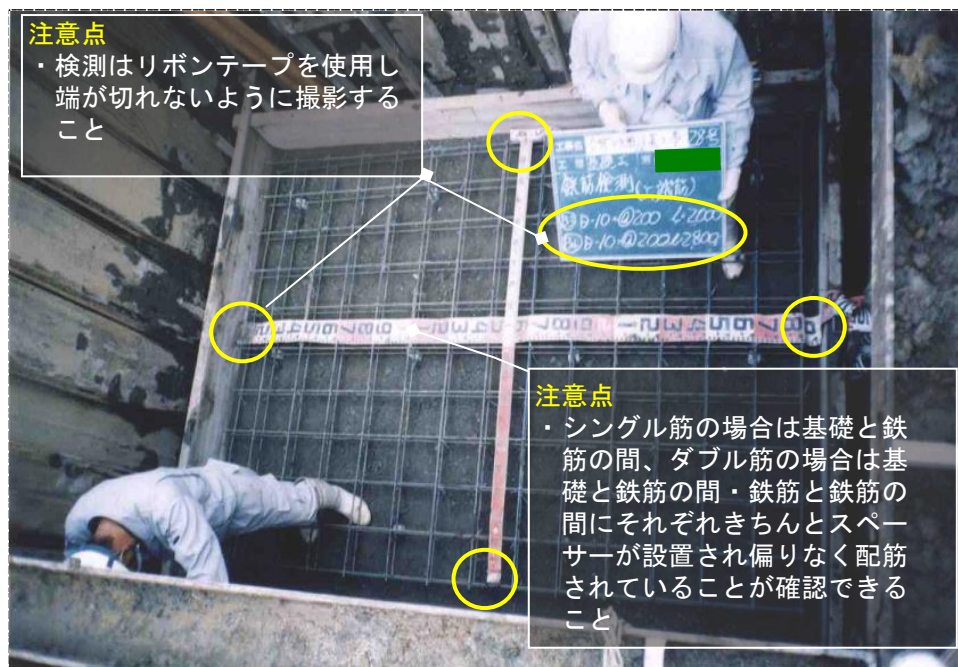


※ P C 板を使用する場合は、写真 18－1・2 を添付する。

写真（４－１）【基礎配筋工】ピッチと長さが確認できる写真

※ 配筋全景、長さや幅が確認できること。

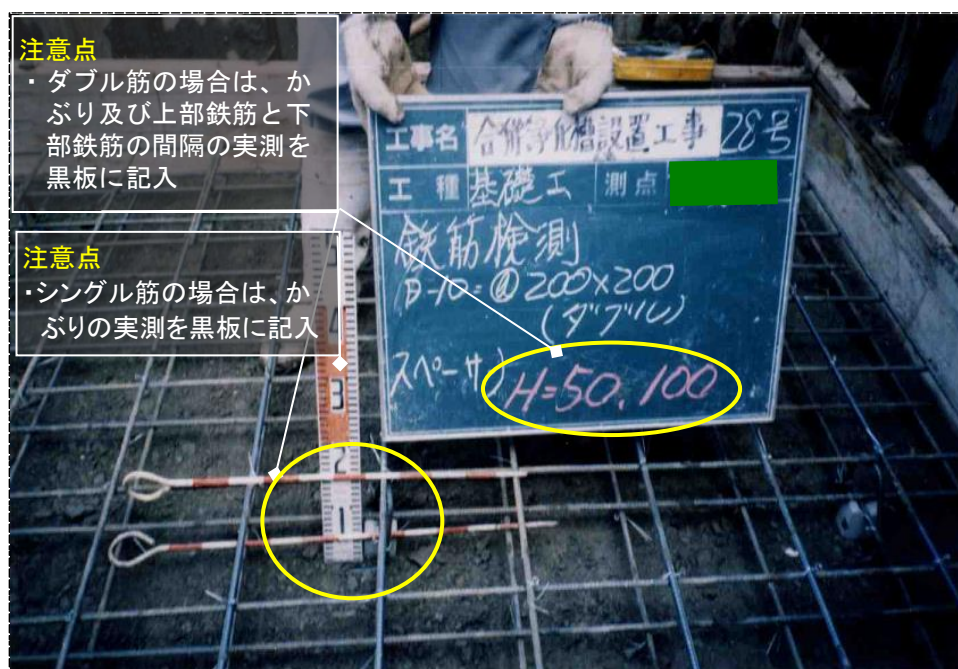
※ スペーサーが設置され偏りなく配筋されていることが確認できること



写真（４－２）【基礎配筋工】かぶりの高さが確認できること。

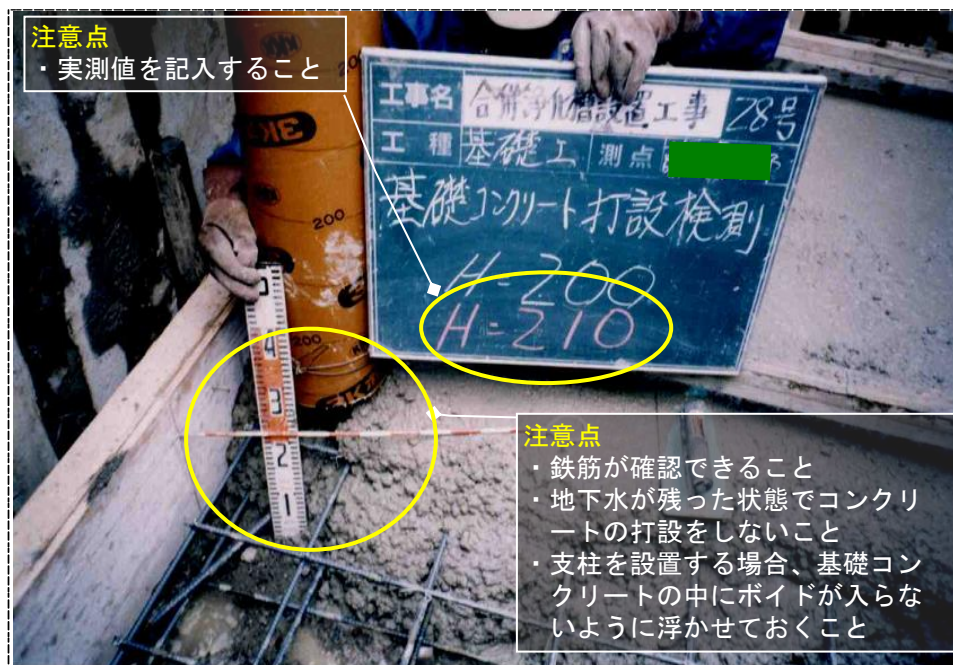
※ シングル筋の場合は、かぶりの実測を黒板に記入

※ ダブル筋の場合は、かぶり及び上部鉄筋と下部鉄筋の間隔の実測を黒板に記入



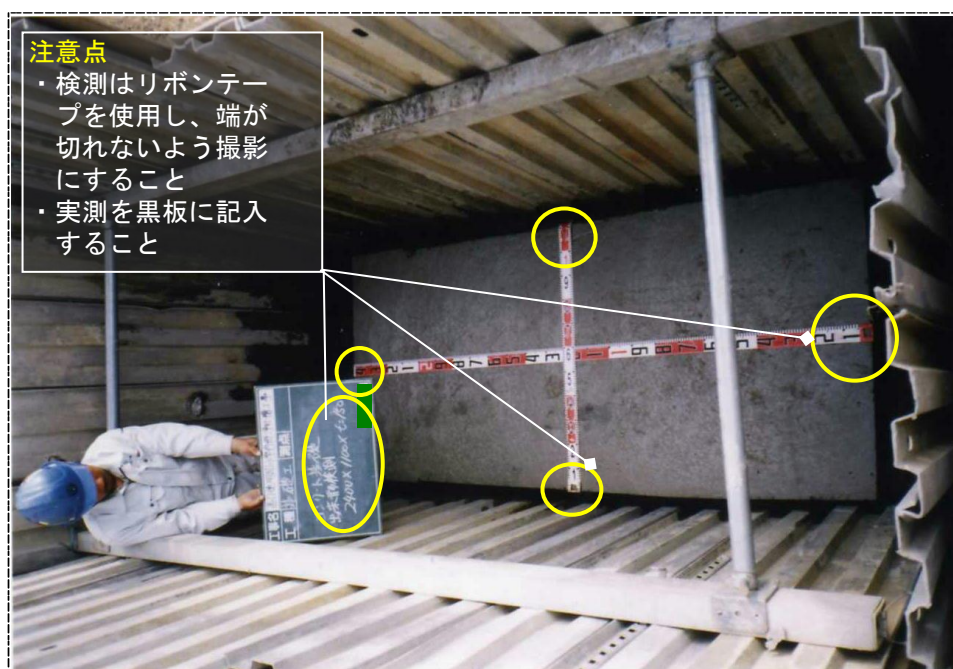
写真（５－１）【基礎コンクリート工】コンクリート打設状況

- ※ 鉄筋が確認できること。
- ※ 打設中のコンクリート厚を検測し、黒板に記入すること。



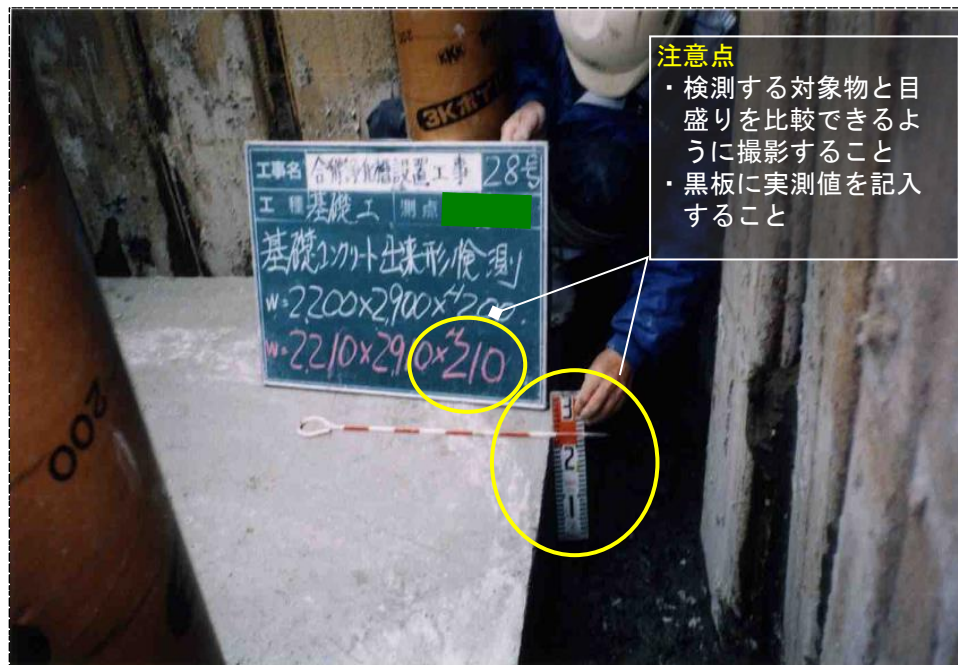
写真（５－２）【基礎コンクリート工】全景写真

- ※ 長さと幅が確認できること。



写真（５－３）【コンクリート基礎工】

※ 基礎厚100mm（駐車場等荷重がかかる場合は150mm）以上が確認できること。



写真（６－１）【据 付 工】

※ 浄化槽の型式及び据付機械が確認できること。



写真（６－２）【据 付 工】

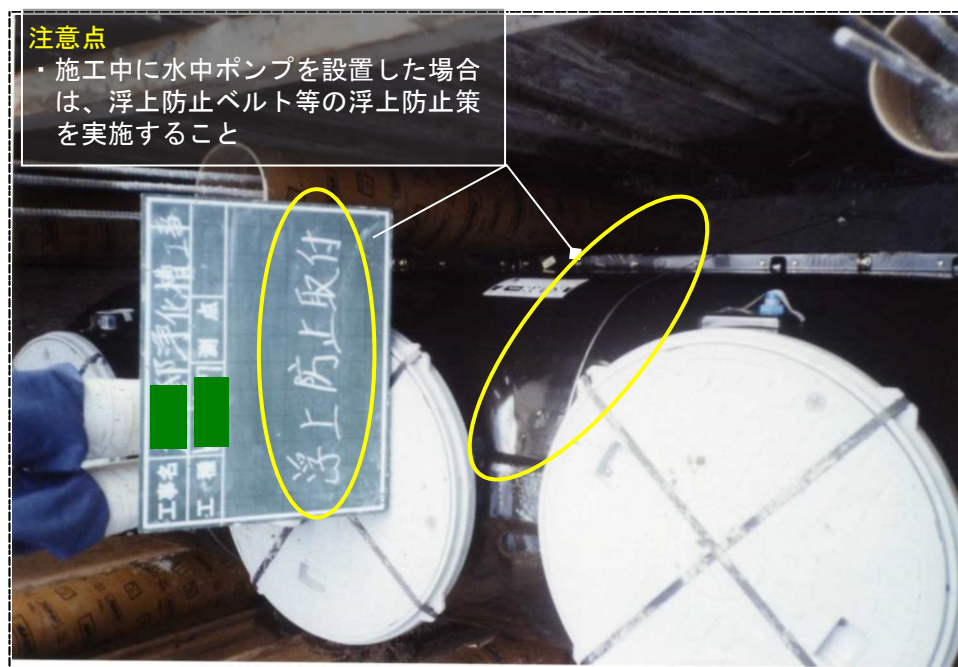
※ 浄化槽設備士が水張りし、水平を確認していること。

※ 黒板に据付年月日の記載が確認できること。（○年○月○日）



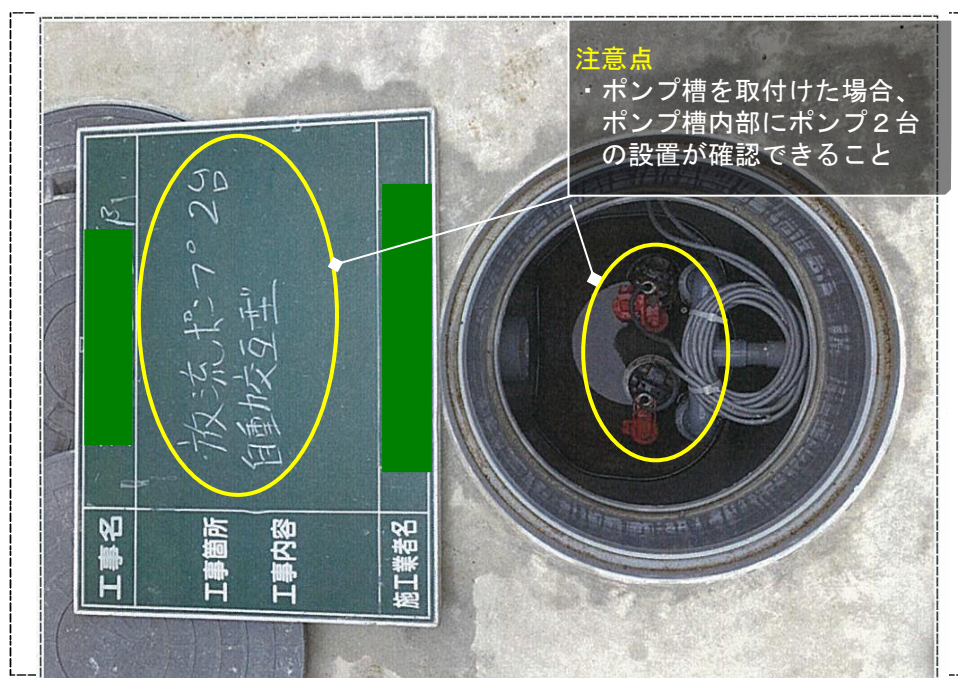
写真（６－３）【浮上防止】

※ 浮上防止ベルト等の浮上防止策を実施した場合



写真（６－４）【ポンプ槽の取付け】

※ ポンプ槽を取付けた場合、ポンプ槽内部にポンプ２台の設置が確認できること。



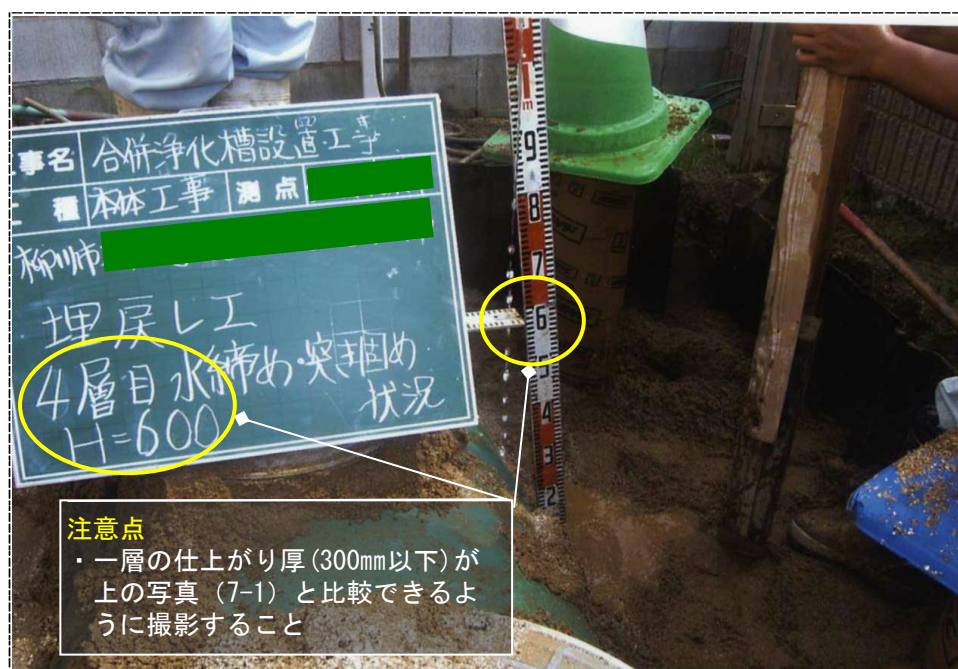
写真（7－1）【埋 戻 工】

※ 水締め、突き固め作業が確認できること。



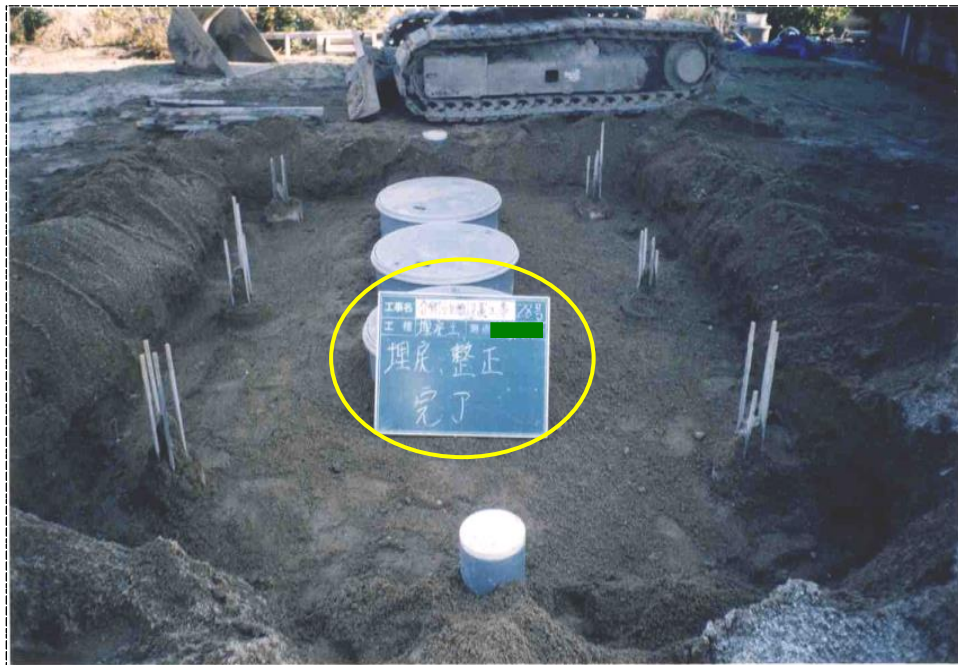
写真（7－2）【埋 戻 工】

※ 一層の仕上がり厚(300mm以下)が、上の写真と比較できるようにすること



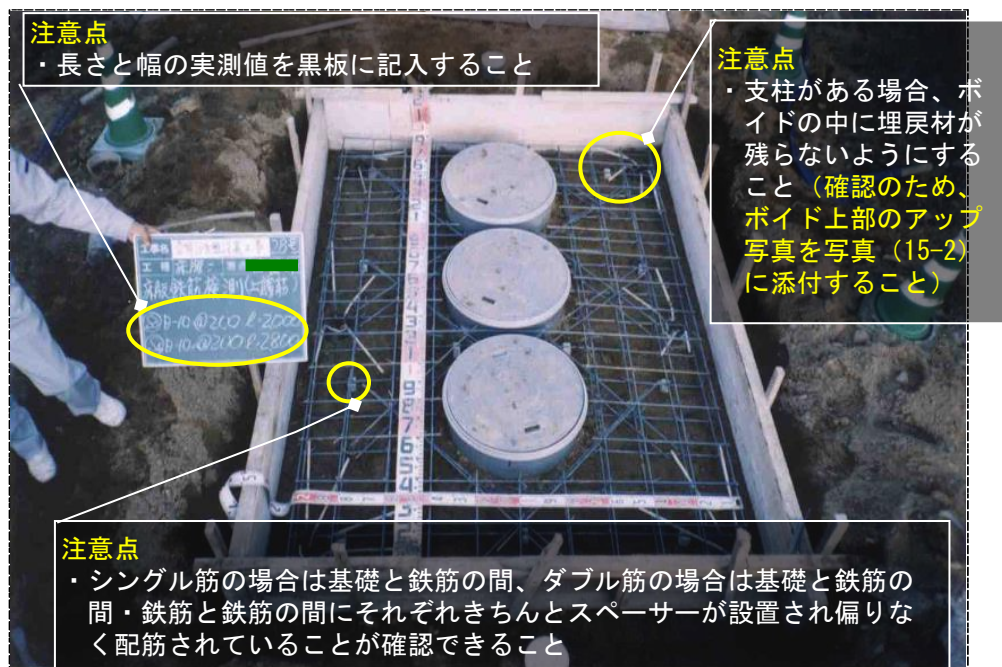
写真（7－3）【埋 戻 工】

※ 埋戻し完了で浄化槽埋設状況が全景的に把握できること。



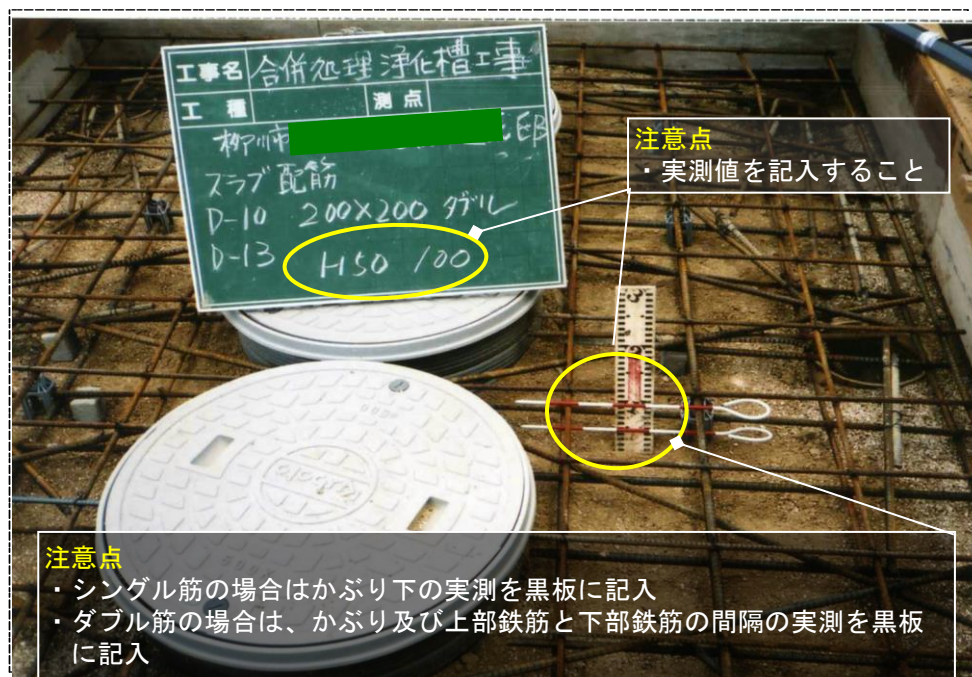
写真（８－１）【スラブ配筋工】ピッチと長さが確認できる写真

- ※ 配筋全景、長さや幅が確認できること。
- ※ スペーサーが設置され偏りなく配筋されていることが確認できること
- ※ 支柱がある場合、ボイドの中に埋戻材が残らないようにすること



写真（８－２）【スラブ配筋工】かぶりの高さが確認できること。

- ※ シングル筋の場合はかぶりの実測を黒板に記入
- ※ ダブル筋の場合は、かぶり及び上部鉄筋と下部鉄筋の間隔の実測を黒板に記入



写真（９－１）【スラブコンクリート工】コンクリート打設状況

- ※ 鉄筋が確認できること。
- ※ 打設中のコンクリート厚を検測し、黒板に記入すること



写真（９－２）【スラブコンクリート工】全景写真

- ※ 長さと幅が確認できること。



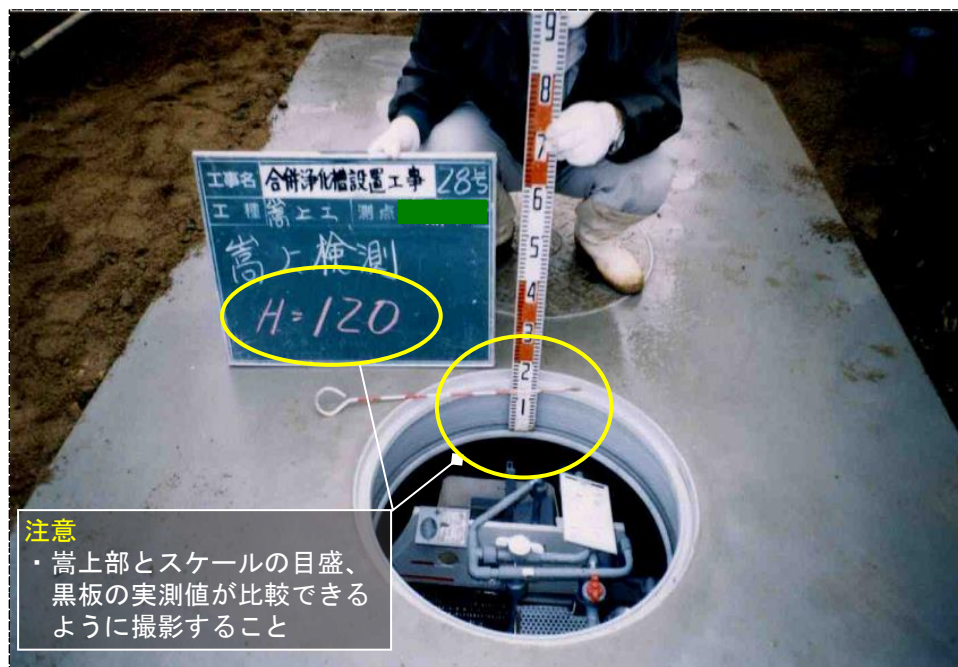
写真（9－3）【スラブコンクリート工】

※ 基礎厚100mm（駐車場等荷重がかかる場合は150mm）以上が確認できること。



写真（１０－１）【嵩上げ状況】

※ 嵩上げ高が確認できること。



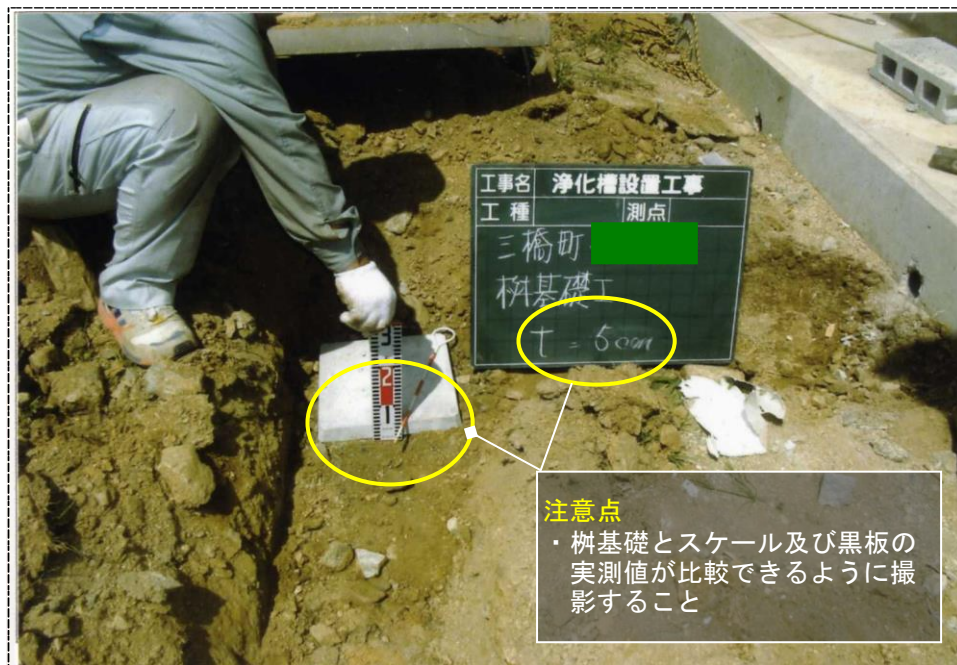
写真（１０－２）【臭突管】

※ 臭突管の設置状況



写真（１１－１）【排水設備】管基礎及び柵基礎打設

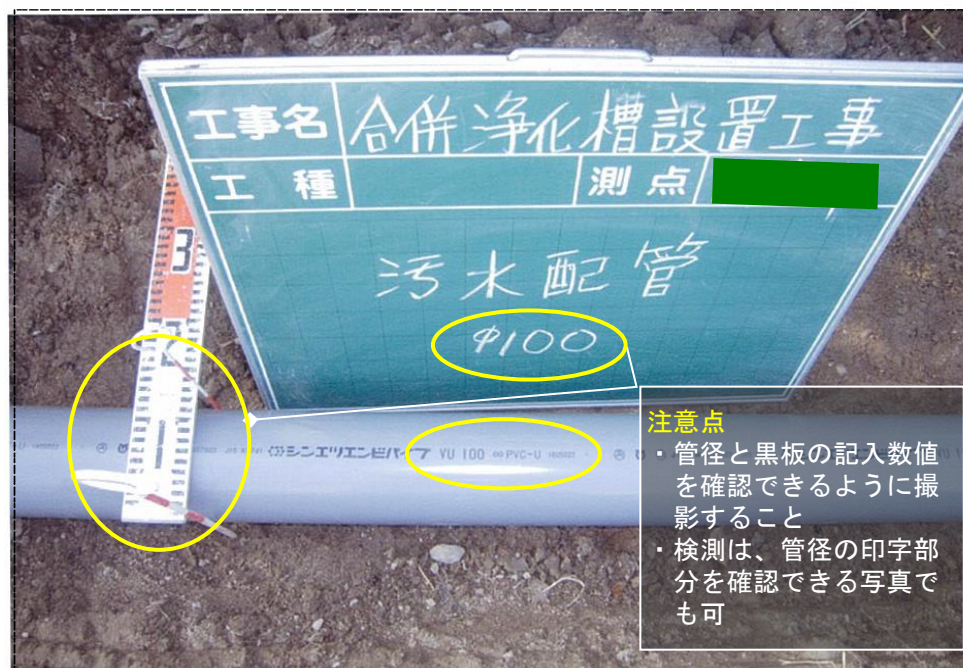
※ 柵基礎50mm（碎石又はコンクリート）が確認できること。



写真（１１－２）【排水設備】配管及び柵設置状況

※ 埋め戻し前に、配管口径100mm以上が確認できること。

※ 検測は、管径の印字部分を確認できる写真でも可



写真（１１－３）【排水設備】

- ※ 埋め戻し後の配管及び柵設置全景が確認できること。
- ※ 柵設置の全景が、写真１枚で確認できない場合は２枚に分けること



写真（１２）【ブロワー設置状況】

- ※ ブロワー基礎がブロワー本体の外寸より50mm以上大きいこと及び基礎厚100mm以上が確認できること。
- ※ ブロワー基礎の固定が確認できること。



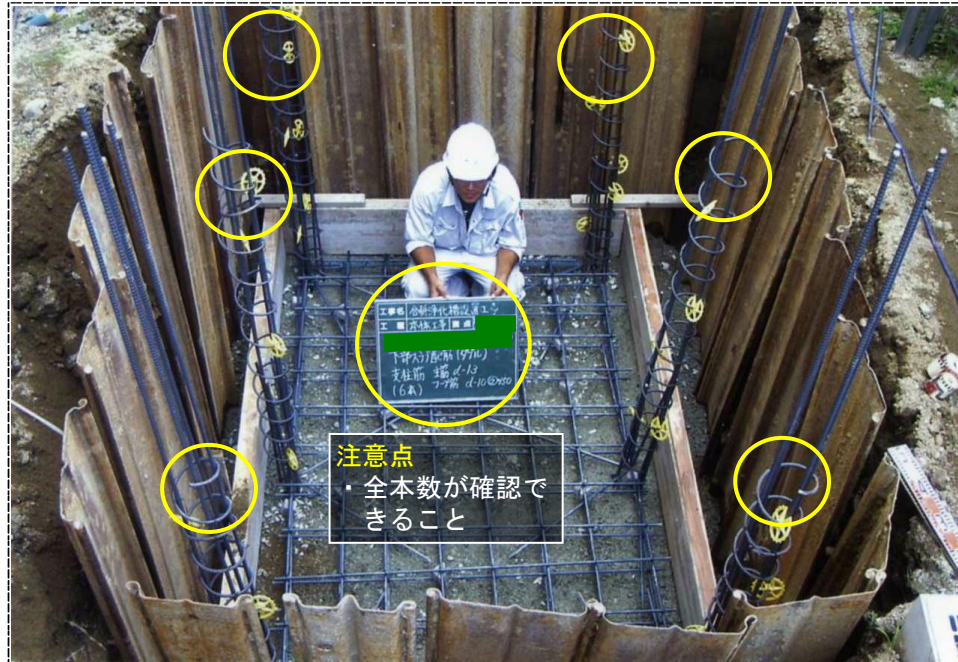
写真（１３）【竣工】

- ※ 浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っているところ。
- ※ 浄化槽設置が確認できること。



写真（14－1）【柱 筋】

※ 全本数（フープ筋含む）が確認できること。



写真（14－2）【柱 筋】

※ フープ筋ピッチが確認できること。

※ スペーサーが確認できること。



写真（１４－３）【柱 筋】

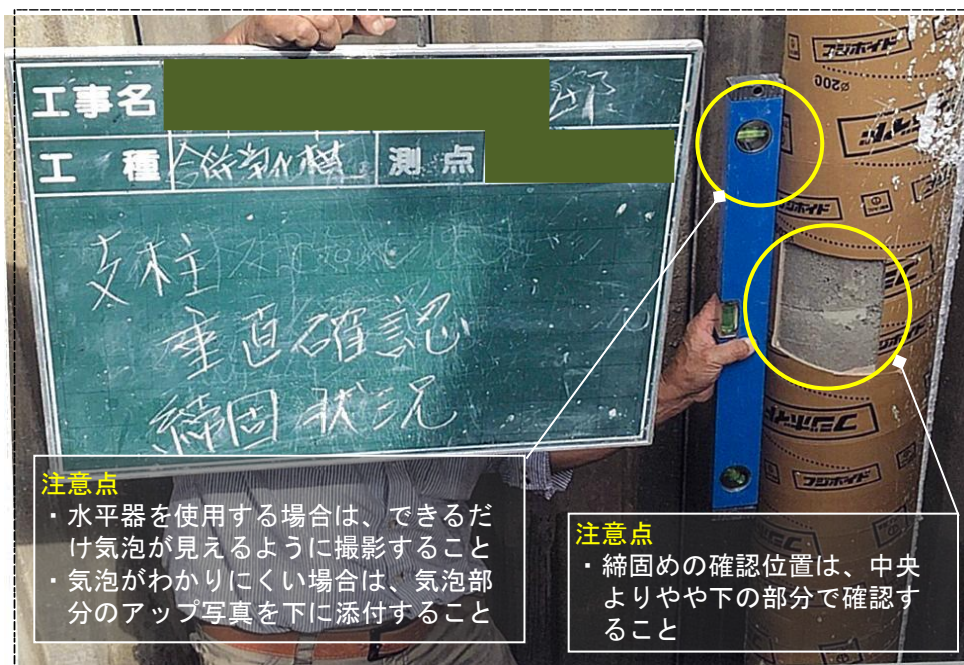
※ 支柱の定着長さ $40D$ ($L=520$) 以上が確認できること。



写真（15－1）【支 柱】

※ 基礎コンクリートに対して垂直に設置されていることが確認できること。

※ 十分な締固めが確認できること。



写真（１５－２）【支柱】

※ ボイド内に埋戻材等が無いことを確認すること



写真（１６－１）【放流先】放流管の設置状況・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・桝と接続した場合は接続した部分
- ※ 敷地内の排水溝等への放流部分 など

※方向①（敷地側）からの写真

※道路側溝に貫通させた場合

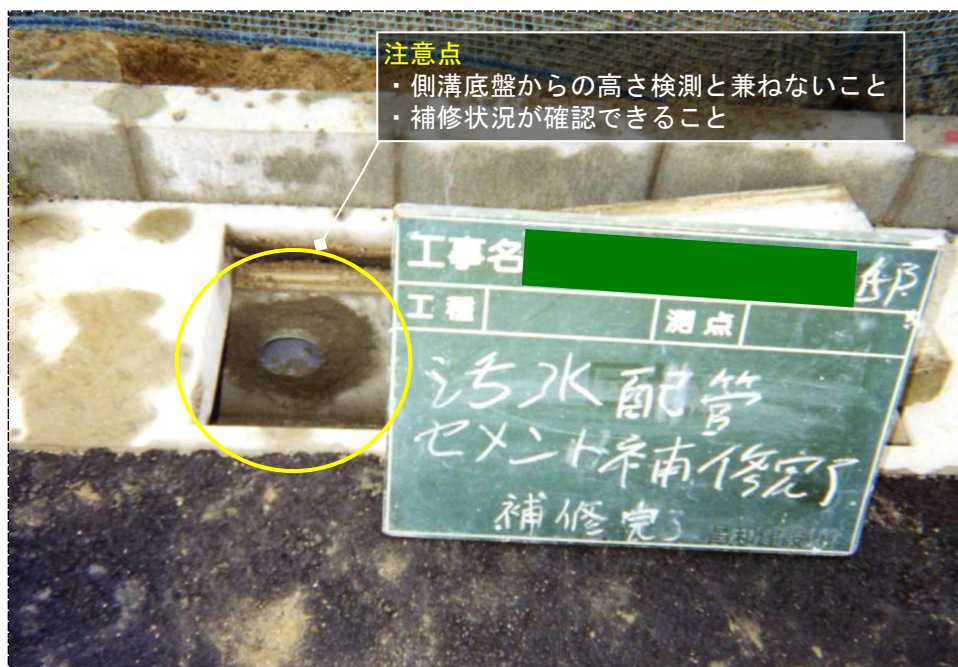


写真（１６－２）【放流先】放流管の設置状況（放流先）・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・桝と接続した場合、敷地内の排水溝へ放流する場合は、最終放流先が確認できる写真など

※方向②（放流先側）からの写真

※道路側溝に貫通させた場合



写真（１６－１）【放流先】放流管の設置状況・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・桝と接続した場合は接続した部分
- ※ 敷地内の排水溝等への放流部分 など

※方向①（敷地側）からの写真

※水路護岸に貫通させた場合

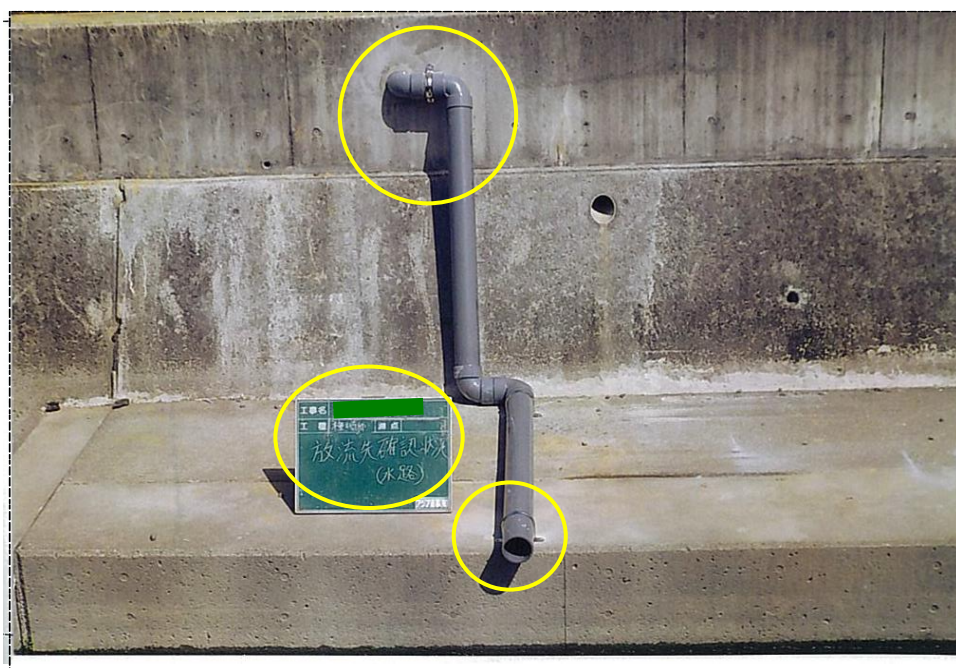


写真（１６－２）【放流先】放流管の設置状況（放流先）・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・桝と接続した場合、敷地内の排水溝へ放流する場合は、最終放流先が確認できる写真など

※方向②（放流先側）からの写真

※水路護岸に貫通させた場合



写真（１６－１）【放流先】放流管の設置状況・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・柵と接続した場合は接続した部分
- ※ 敷地内の排水溝等への放流部分 など

※方向①（敷地側）からの写真

※既設の柵と接続した場合

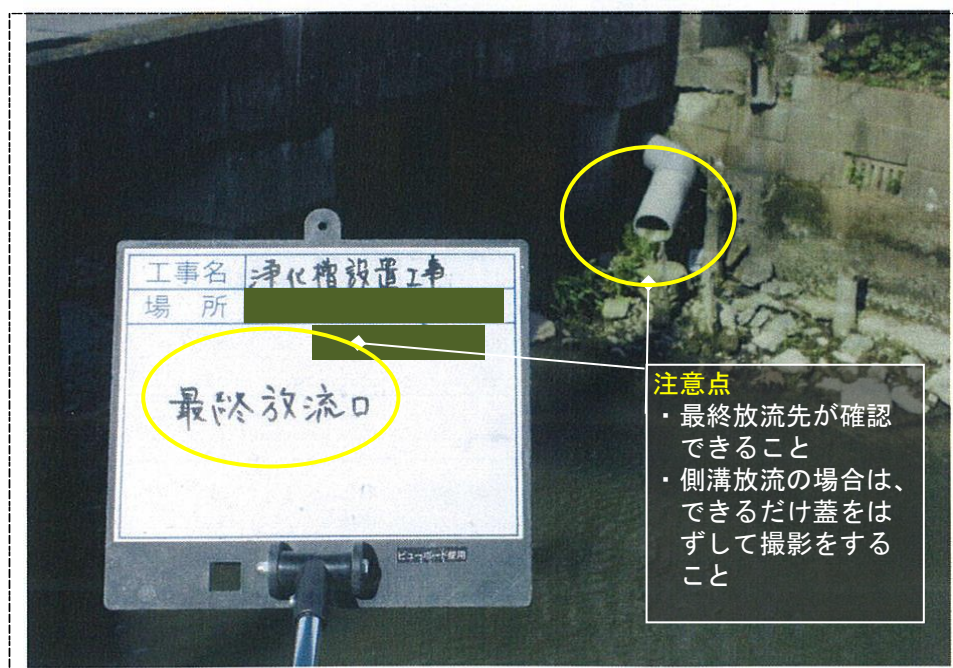


写真（１６－２）【放流先】放流管の設置状況（放流先）・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・柵と接続した場合、敷地内の排水溝へ放流する場合は、最終放流先が確認できる写真など

※方向②（放流先側）からの写真

※既設の柵と接続した場合



写真（16－1）【放流先】放流管の設置状況・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・桝と接続した場合は接続した部分
- ※ 敷地内の排水溝等への放流部分 など

※方向①（敷地側）からの写真

※敷地内の排水溝に放流する場合



写真（16－2）【放流先】放流管の設置状況（放流先）・補修状況

- ※ 放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真
- ※ 既設の管・桝と接続した場合、敷地内の排水溝へ放流する場合は、最終放流先が確認できる写真など

※方向②（放流先側）からの写真

※敷地内の排水溝に放流する場合



写真（16－1）【放流先】放流管の設置状況・補修状況

※放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真

※既設の管・柵と接続した場合は接続した部分

※敷地内の排水溝等への放流部分

など

※方向①（敷地側）からの写真

※護岸・側溝の補修工事不要の場合



写真（16－2）【放流先】放流管の設置状況（放流先）・補修状況

※放流管を水路護岸等に貫通させた場合は護岸等の補修状況が確認できる写真

※既設の管・柵と接続した場合は、最終放流先が確認できる写真

※敷地内の排水溝等へ放流する場合は、最終放流先が確認できる写真など

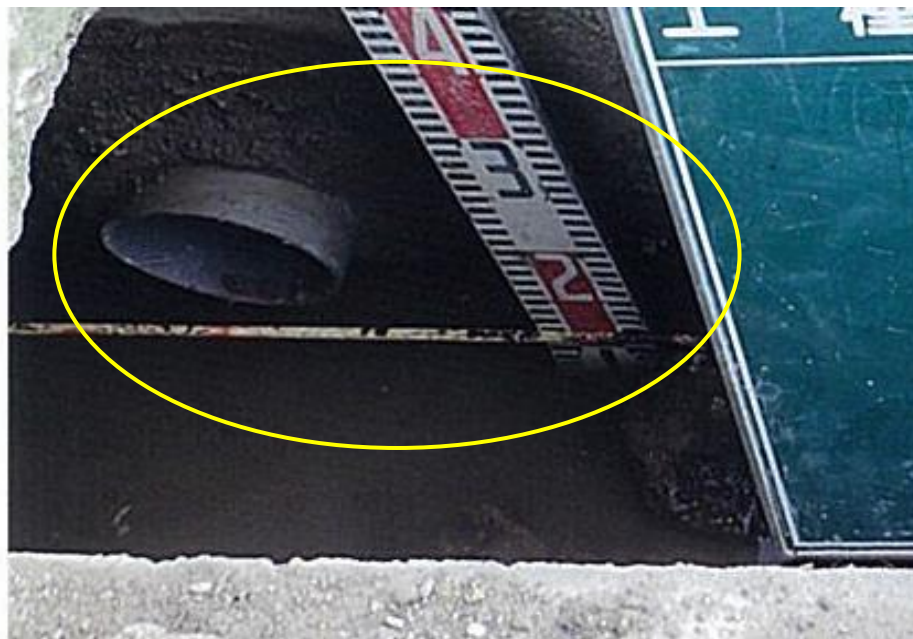
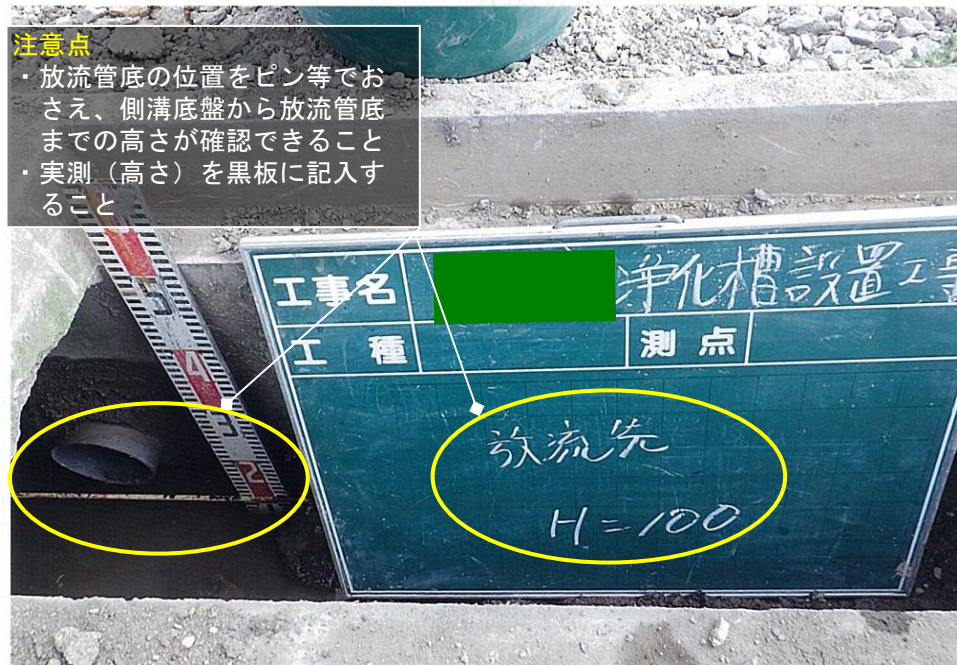
※方向②（放流先側）からの写真

※護岸・側溝の補修工事不要の場合



写真（１７）【側溝放流】逆流防止

※ 側溝への接続部分の高さが確認できる写真



写真（１８－１）【ＰＣ板設置工】ＰＣ板の確認写真

- ※ 工事用黒板が写っていること
- ※ ＰＣ板を吊り込む以前に、地上に置いた状態でメーカー名・ＰＣ板の寸法が確認できること



写真（１８－２）【ＰＣ版設置工】ＰＣ板設置時の写真

- ※ 工事用黒板が写っていること
- ※ ＰＣ板を所定の位置に吊り込みが完了した状態で撮影すること
- ※ 水平器等でＰＣ板の水平設置が確認できること



写真（１９－１）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類：単独処理浄化槽 汲取り便槽

項目：既存設備撤去前（外観）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（外観））」を必ず入れてください。



写真（１９－２）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類：単独処理浄化槽 汲取り便槽

項目：撤去作業中（掘上げ中）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（掘削中））」を必ず入れてください。



写真（１９－３）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類：単独処理浄化槽 汲取り便槽

項目：既存設備撤去後（残存物ないことの確認）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（撤去後）」を必ず入れてください。



写真（１９－４）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類：単独処理浄化槽 汲取り便槽

項目：撤去作業終了（整地後）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（整地後）」を必ず入れてください。



写真（１９－１）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類： 単独処理浄化槽

汲取り便槽

項目：既存設備撤去前（外観）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（外観））」を必ず入れてください。



写真（１９－２）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類： 単独処理浄化槽

汲取り便槽

項目：撤去作業中（掘上げ中）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（掘削中））」を必ず入れてください。



写真（１９－３）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類： 単独処理浄化槽 汲取り便槽

項目：既存設備撤去後（残存物ないことの確認）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（撤去後）」を必ず入れてください。



写真（１９－４）【既存設備の撤去状況】

既存設備の種類： 単独処理浄化槽 汲取り便槽

項目：撤去作業終了（整地後）

※「黒板（〇〇邸 既存設備撤去工事（整地後）」を必ず入れてください。



写真（２０－１）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

項目：

A large, empty rectangular box with a dashed border, intended for the user to upload a photograph related to the project or inspection item.

写真（２０－２）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

項目：

A large, empty rectangular box with a dashed border, intended for the user to upload a photograph related to the project or inspection item.

写真（２０－３）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

項目：

A large, empty rectangular box with a dashed border, intended for the user to upload a photograph related to the project or inspection item.

写真（２０－４）【その他】

※ 工事で必要な写真または、指摘事項写真

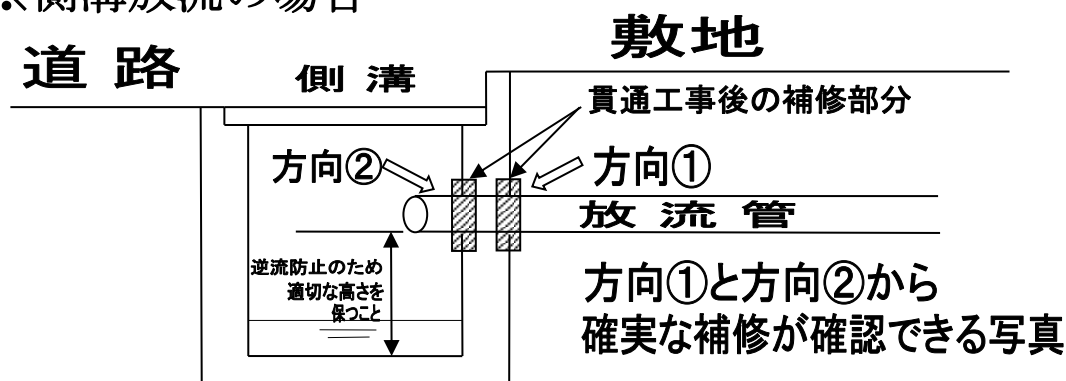
項目：

A large, empty rectangular box with a dashed border, intended for the user to upload a photograph related to the project or inspection item.

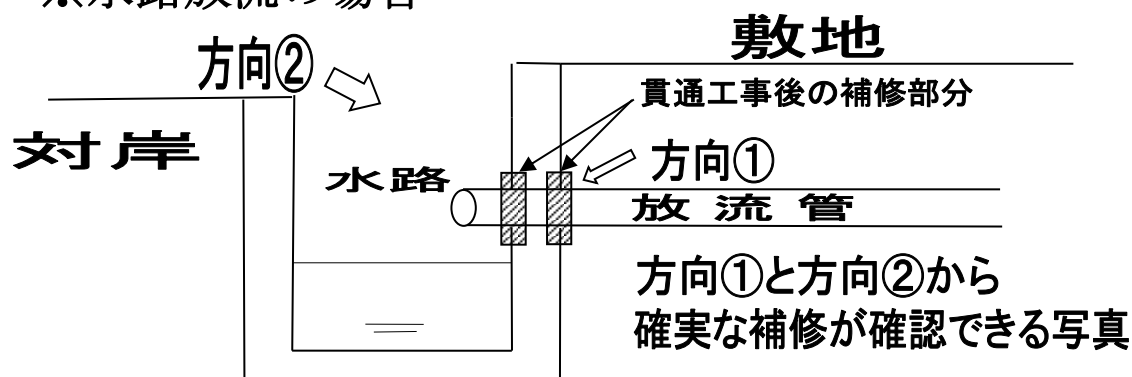
－工事写真集の注意事項－

- ◎ 工事関係者のヘルメット未着用写真は受け付けません。
- ◎ 検測を伴う写真には、必ず実測値を黒板に記載、掲示して下さい。
- ◎ リボンテープやスケールの端、黒板が見切れないように、写真撮影をして下さい。
- ◎ 放流管を水路護岸または道路側溝等に貫通させる工事を行う場合は、貫通後の補修状況の確認のため、写真(16－1・2)【放流先】が必要となります。
下図のようにモルタル等による確実な補修状況の確認できる写真を添付して下さい。
なお、水路放流において、対岸側からの撮影が困難な場合は、敷地側からの写真でも可としますが、「補修状況」「放流口」等がわかるように撮影してください。

※側溝放流の場合



※水路放流の場合



対岸側（方向②）からの撮影が困難な場合は、敷地側からの写真でも可としますが、「補修状況」「放流口」等がわかるように撮影してください。